

はやぶさ (大)

<材料> (製品番号は参考です)

テグス (2号) 140 cm

① 丸大ビーズ (銀)

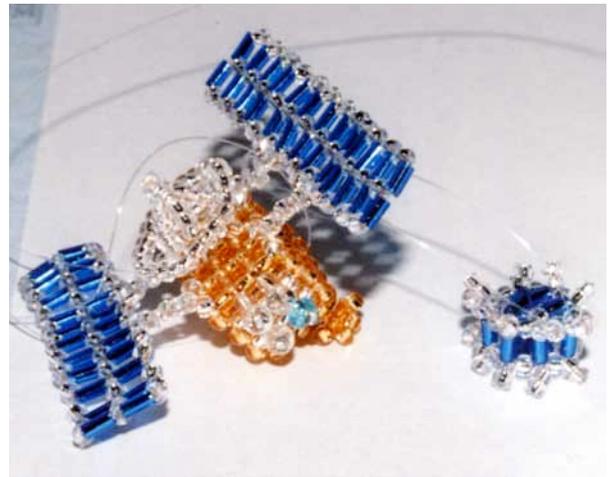
② 丸大ビーズ (水色)

○ 丸小ビーズ (金)

● 丸小ビーズ (銀) (MIYUKI 724-10 H1)

● 特小ビーズ (銀) (TOHO CRAFT α No. 29BF)

□ 竹ビーズ (青、長さ 3mm) (MIYUKI H67)



このはやぶさ (大) は、4種5個のパーツごとに編んでいきます。

カッコの中は、テグスの長さです。

- ・ 本体+サンプラー+イオンエンジン (140cm)
- ・ 太陽電池パネル×2 (60 cm×2)
- ・ ハイゲインアンテナ (30 cm×2)
- ・ リエントリーカプセル (20 cm)

<サンプラーホーン+本体>

1. 金の丸小ビーズを使って中心から★まで、平らに編みます。★でクロスした後、◆→♣→★で順に交差しますと、立体的なホーンになります。

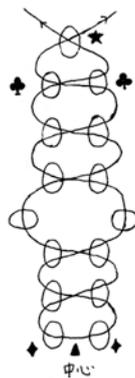
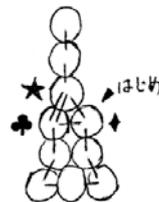


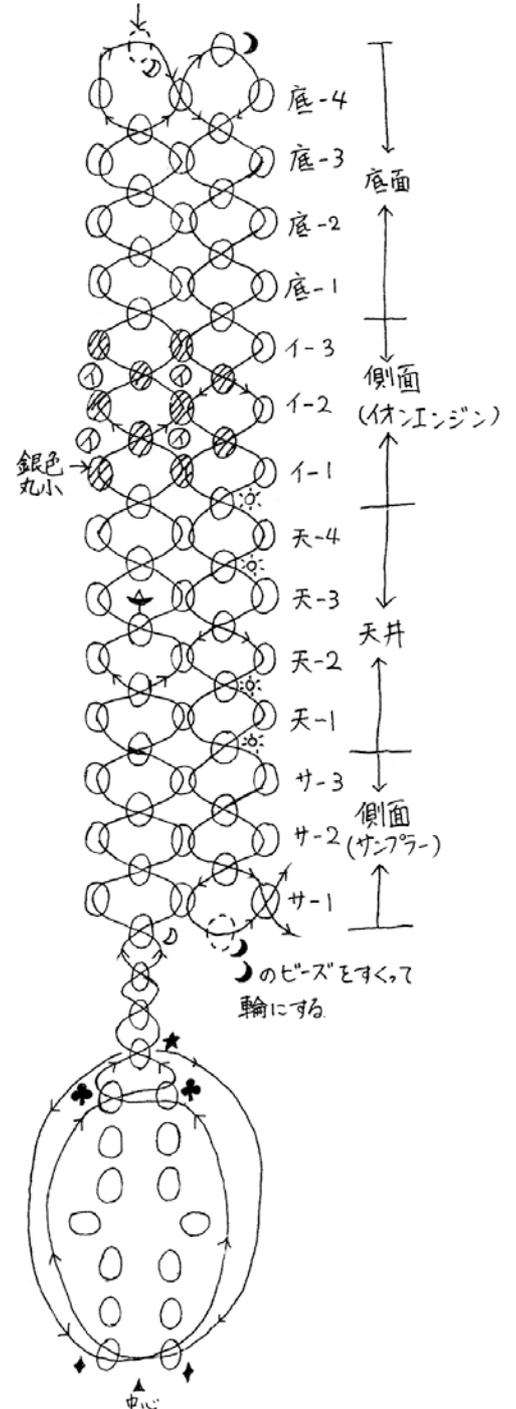
図. 1



2. 二回目に★でクロスしたら、金の丸小ビーズを2個編んで、ホーンの細い部分を作ります。Dから、はやぶさ本体を編みます。まずは、ぐるっと一周巻くのですが、イオンエンジンの台になっている部分は銀色ですのでご注意ください。一段目を編み終わったら、Dのビーズをすくって輪にし、二段目を編みます。二段目が終わったら、二段目の頭のDのビーズをすくって輪にします。イオンエンジン、ハイゲインアンテナ、太陽電池パネルの取り付け位置を、それぞれ、①、♣、☆であらわしてあります。これらの取り付け位置のビーズ、サンプラーの付け根のD、★などのビーズには、テグスを何回も通すことになりますので、穴の大きめのものを選んでおくと良いでしょう。

Dのビーズをすくって
輪にする

<<本体>>



3. 2で作った輪のサンプラーホーンを下向きにしたときに、右側になる面を編みます。図2の右端にある、番号の付いたビーズをすくいながら、図.3のようにかごを編んでいきます。

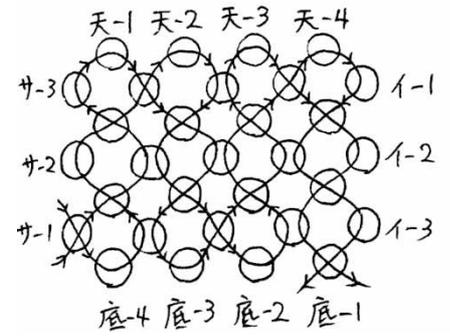


図.3

4. 底-1 でクロスしたら、はやぶさの底面を二度通しながら、テグスを左側に出します。底面、サンプラー一面という順番で、左側にもう一段編みます。イオンエンジン面の▲まで編んだら、片方のテグスでイオンエンジンのスラストと、中和器を編み付けます。もう片方のテグスには、順番どおりにビーズを通して、とりあえず輪を完成させておくと良いでしょう（で、テグスの先をクリップで挟んでおくとビーズが抜けなくて良い）。点火中のイオンエンジンのスラストには水色の丸大ビーズを、止めているスラストには銀の丸大ビーズを使います。（ちなみにこのレシピはイオンエンジンDの一台運転をあらわしています）中和器には銀の極小ビーズを使います。各イオンエンジンごとに、丸大ビーズと極小ビーズをまとめて通して、して下さい。最後に、イ-3 左でクロスします。

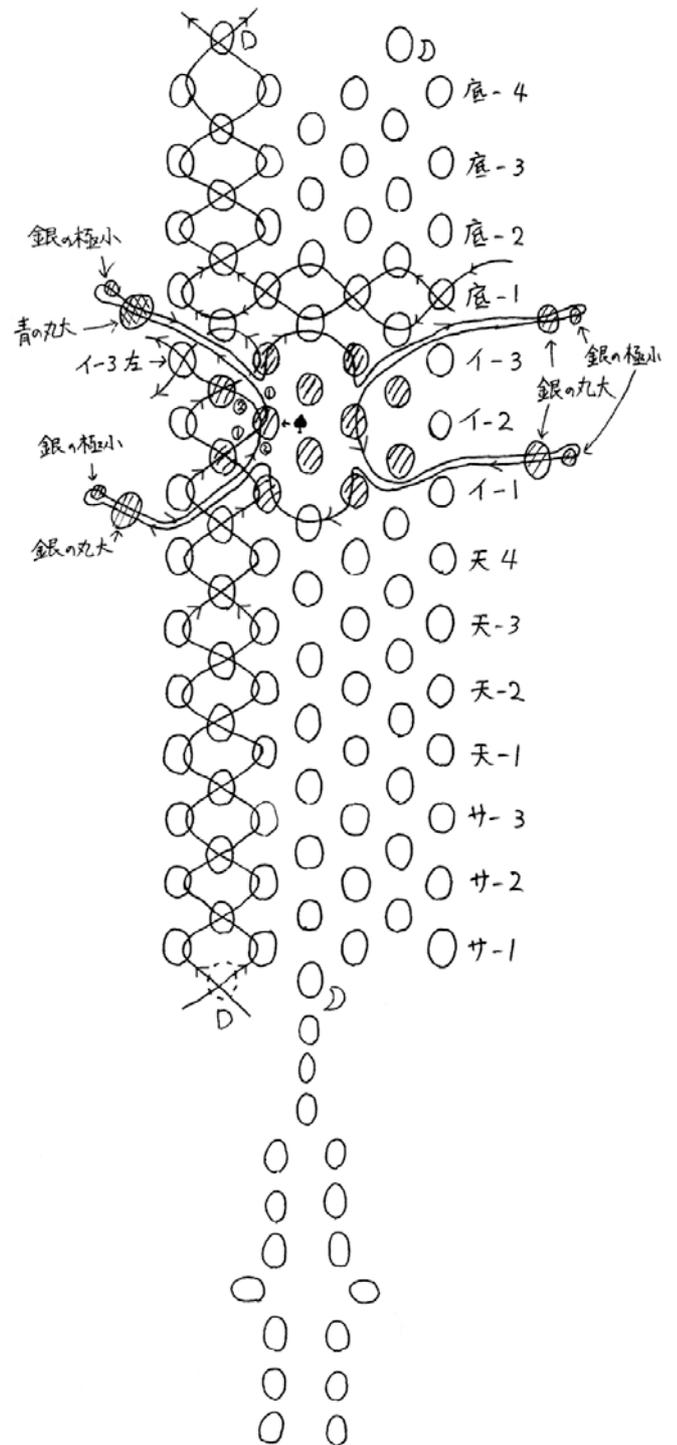


図.4

5. 残った左側の側面を、図. 5 のように編めば、サンプラーホーン、イオンエンジン付きはやぶさ本体が完成します。二度通しは、部品の取り付けが終わってからのほうがよいので、余ったテグスは適当に丸めて、クリップで留めておきます。

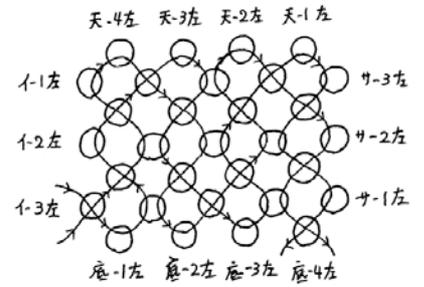


図. 5

<太陽電池パネル>

6. 青の竹ビーズで、平らないかだを2枚編みます。

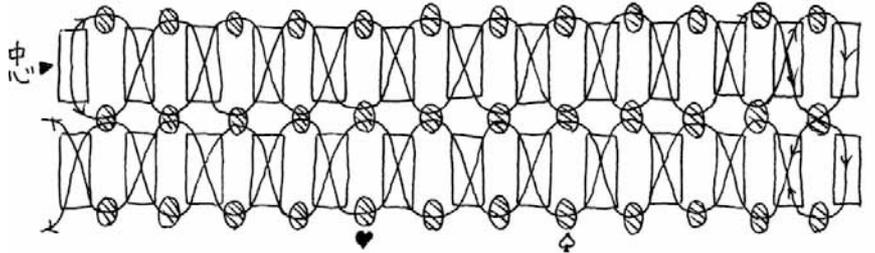


図. 6

7. 二度通しをしながら、♥の両脇にテグスを出します。銀の丸小ビーズで太陽電池パネルの支柱を作り、そのテグスの先を、はやぶさ本体の天井のビーズに通し、天-4の次のビーズでクロスします。こうして、はやぶさ本体の天井のビーズをすくいながら端まで行き、銀の丸小で支柱を作ります。この支柱の先には、もう一枚の太陽電池パネルを取り付けます。もう一枚の太陽電池パネルでも同様に、二度通し、支柱編み、はやぶさ本体の天井を通す、支柱を編む、太陽電池パネルで二度通し。を行います。

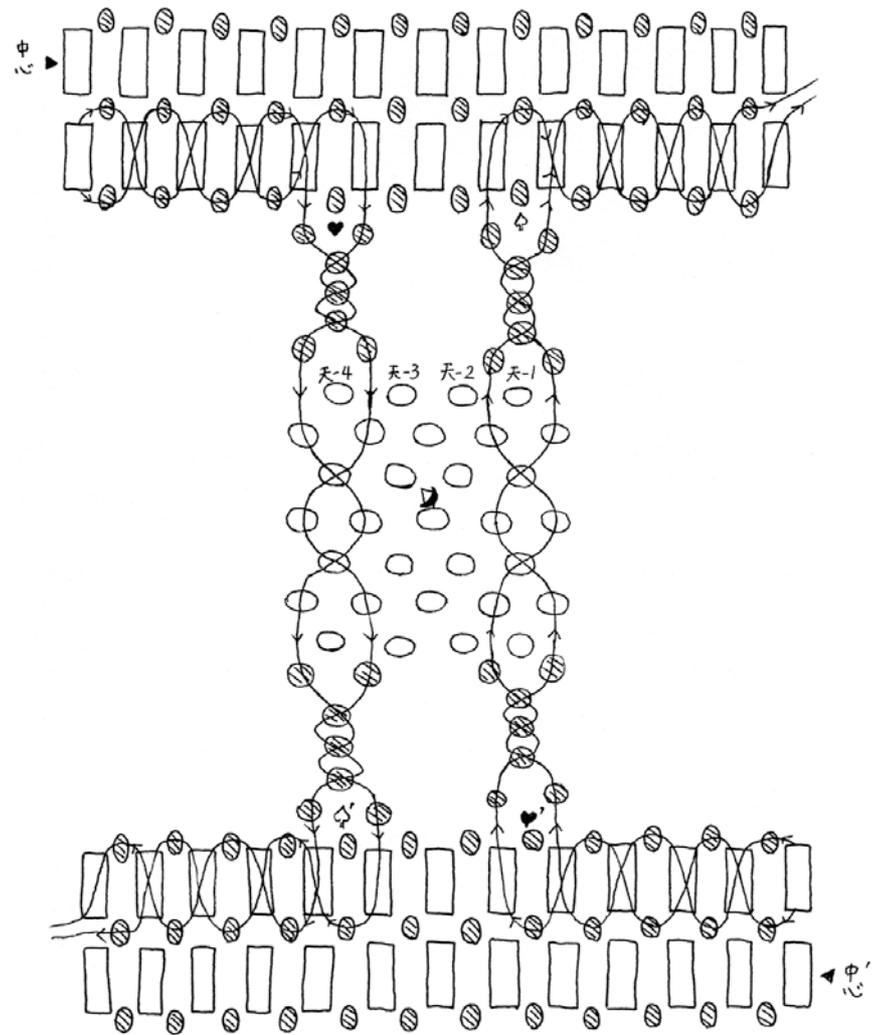


図. 7



一枚目の太陽電池パネルから、支柱を編み、はやぶさ本体に取り付けているところ。

<ハイゲインアンテナ>

ハイゲインアンテナは、銀の丸小を使いますが、配線がややこしいため、図には斜め線を入れておりませんので、ご了承下さい。

8. テグス2本をまとめて、はやぶさ本体の天井の

中央の✦のビーズに通します。

まず、お皿を編みます。一段目は3個ずつ、二段目は6個ずつ、四角形に編んでいきます。

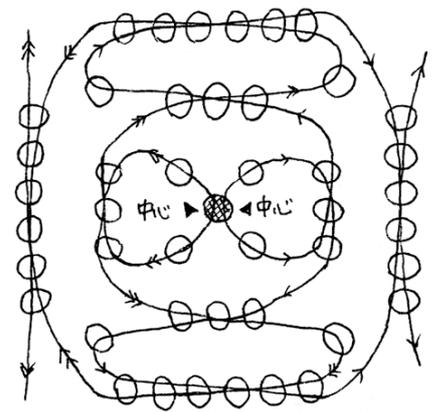
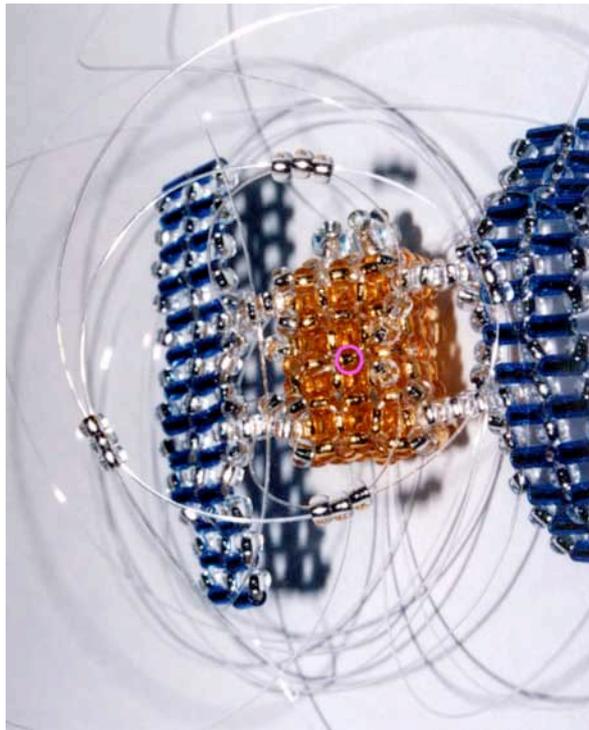


図. 8

9. お皿の外側にでた、4本のテグスのうち、3本を使って、アンテナの支柱を作ります。3本のテグスは、一段内側に戻し、1段目の円をだいたい3等分するあたりで、お皿の面からはずし、銀の丸小を3個ずつ通します。これ

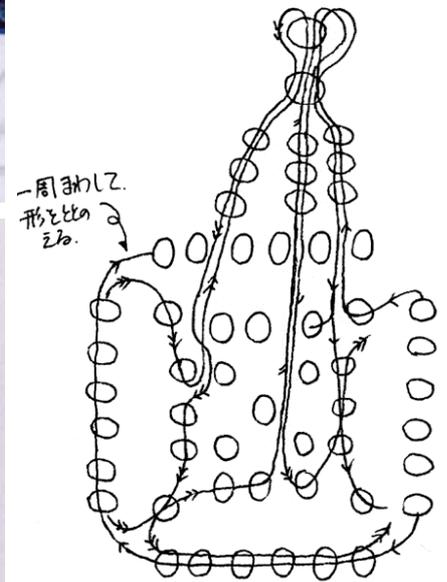


図. 9

らを穴の大きめなビーズ2個に通し、テグスを3本まとめてをします。余ったテグスは二度通しに使います。残った一本のテグスを用いて、お皿の外周をぐるぐると通すと、比較的丸いアンテナになります。



<リエントリーカプセル>

10. 中心から一度編んだ後、お皿の外周をぐるぐると通すと比較的丸くなります。
#ここで、リエントリーカプセルだけ独立させて二度通しをし、しっかり編み込んでおくと、あなたのビーズはやぶさで「リエントリーカプセルの切り離し」イベントを再現できます。

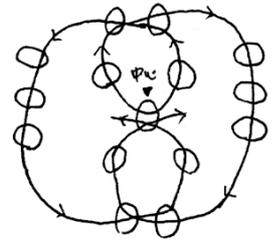


図. 10

11. 本体のサンプラー面に、だいたいこのようにテグスを通して
ながら、リエントリーカプセルを縫いつけます。

12. 余ったテグスで、均等に二度通ししていくと、少し丈夫
になります。

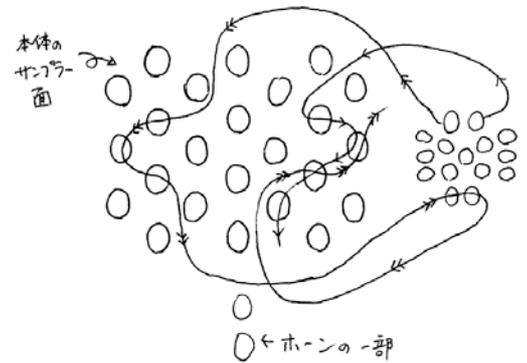
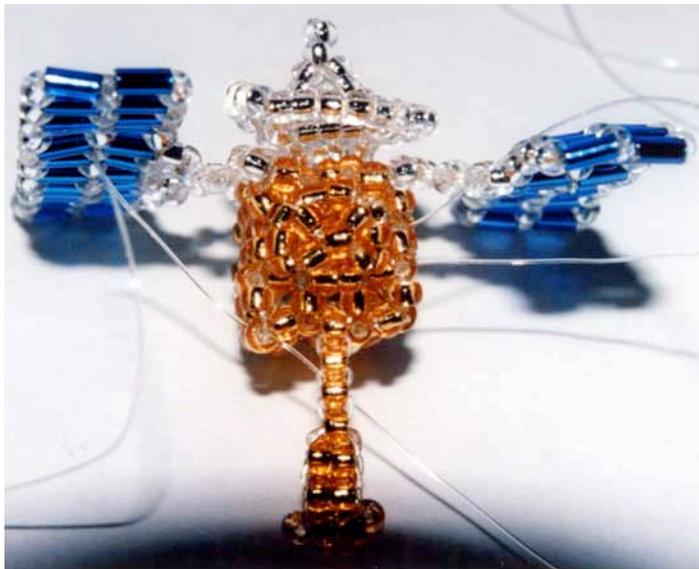


図. 11



<メモ>

丸小ビーズにしては、テグスを沢山通しているところ
もありますので、通らないところもあるかと思いますが、
そういうところは適当に回り道して下さい。テグス
2号ですと、図に書いたところに全部通せる確率は、
結構高いです。テグスが通らないときは、テグスの先
を斜めに切ったり、端に近いところをピンセットでつ
かんで通したり、ピンセットで通したいビーズを持ち

上げたりしてみてください。私は、テグスを結ばず、しつこく通して止めるのが好きなので、堅い仕上がりになります。はやぶさ(小)を、名札につけて一年ほど振り回しても、壊れないところを見ると、テグスを結ばなくても、結構丈夫ですね。つるすときは、ハイゲインアンテナにテグスを通して、結んでいます。(落とすと悲しいのでしっかり結びましょう)メモリースティックにもつけています。太陽電池パネルや、サンプラーホーンなどをまっすぐにしたい方は、細い針金(私は銀色のビーズ用ワイヤーを使用)を仕込むことをお勧めします。ちなみに、はやぶさ(小)、ミネルバは、1から2時間、はやぶさ(大)は10時間くらいかかって作っております。

